

2022 年 11 月

地域自然情報研究会 (現地 / オンライン 併用開催)

廃校プールで浮島プロジェクト ～竹と土と草から創った「いちかい浮島」～

井本 郁子 氏

(NPO法人 地域自然情報ネットワーク / 日本技術士会栃木県支部)



栃木県市貝町(旧)小貝中央小学校のプールは、藻の繁茂による悪臭やボウフラなどの発生が問題となっていました。そこで、地域の活性化と希少種の保全を目的に、水の入れ替えとキンブナの放流が行われました。当初はコンクリートのプールには生き物の姿はなく、水源は雨水のみを頼っていることから、水質の悪化が懸念されました。

そこで、水質と生物の生息環境の改善に加えて、湿地の生態系の創出を目的として、炭による浄化、簡易な曝気ポンプの設置をし、さらに地域の竹材と谷津田の植物と土を材料とした浮島を設置しました。設置から約 3 年後には、浮島ではトンボ類をはじめ様々な生き物が訪れる環境が生まれました。

このような、里山の自然を活かした生物多様性の保全と創造の事例を紹介します。



開催日時

2022年11月5日(土) 13:00～15:00

参加費

1,000円(GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

下記ホームページよりお申し込み下さい。
<http://www.geo-eco.net/>

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(gcnken@gmail.com 担当: 梶並)

会場

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)
及び

Zoomミーティング



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、年数回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geocological Conservation Network

**NPO法人地域自然情報ネットワーク(GCN)は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します**

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>